

《消費者と一緒にになった自給力アッププロジェクト》

市町村	遊佐町	対象地域	遊佐町	分野	土地利用型作物
実施主体名	遊佐町共同開発米部会	代表者氏名	川俣義昭	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	遊佐町広表6-1 JA庄内みどり遊佐営農課/0234-72-3234
実施主体構成	482名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	244,000千円（17,730千円）					
	独自の目標項目	特別栽培米栽培面積 1,240ha→1,500ha 2年3作（飼料用米+ナタネ+大豆）2.5ha→50ha					
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）	
	産出額	226,270千円	227,692千円	229,600千円	232,200千円	236,800千円	244,000千円
	特別栽培米	1,240ha	1,290ha	1,340ha	1,390ha	1,440ha	1,500ha
	2年3作	2.5ha	4.7ha	10ha	20ha	30ha	50ha
プロジェクト 概要	◎実施方針	飼料用米+ナタネ+大豆の2年3作を活用し大豆の連作障害を防止することにより、収量増を目指します。また新たな作物としてナタネの作付けを実施し、油脂作物の自給率の向上に努めると共に、飼料用米の生産に努め食料自給率のアップを図ります。この様な活動を消費者と共にマッチングすることにより、遊佐の農業を理解していただき、特別栽培米の販路を拡大しながら、米の消費の拡大を進め所得の拡大を図ります。					
	○産出額の増大	特別栽培米の販売先の確保 226,000千円 → 226,000千円 大豆の収量アップ 240千円 → 9,000千円 ナタネ作付け拡大 30千円 → 9,000千円					
	○雇用の創出	ナタネ作業班確立（播種・収穫・調整）により雇用を創出します。 平成25年の雇用人数 年間延べ167人・日（年間平均約0.5人/日）					
	○創意工夫	2年3作を活用して自給力のアップを図ります。また、ナタネの絞りかすを肥料にし、ナタネ油の廃油を農機具の燃料にする資源循環型農業を行います。					
	○実現性	販売先については播種前契約を行い、収量確保についても関係各位の指導を仰ぎながら実施します。					
	○地域への波及効果	収量性の確認を図り全体で100haを目標とします。					
	○その他	新たな自給力アップのモデルとなりうる事業であると共に、後継者育成の為、事業については若い生産者が中心的に実施します。					

		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成22年度）
	事業内容	①委託費 ②その他	①委託費 ②播種機の購入その他